

事業名（団体名） 特産品直売所及び故郷コンビニ「よらんかな」拠点整備事業（NPO 法人おかげさまで）

概要：大矢野地区にある「上天草さんぱーる」への特産品（農水産品他）の出荷が地理的に困難な生産者の直売拠点としての役割と、高齢化率が39%と市内でも特に高い姫戸、龍ヶ岳地区の「買い物弱者」と呼ばれる方々の救済の為に、特産品直売所及び生活必需品を中心に販売する拠点施設を姫戸町牟田地区の市有地を借り受け整備、運営した。

事業の内容

- ①故郷コンビニ「よらんかな」施設の建設整備工事（平成27年8月～10月）
- ②故郷コンビニ「よらんかな」施設周知・PRの為に看板設置及び広報活動、メディアへの依頼
- ③故郷コンビニ「よらんかな」施設の運営（平成27年11月～現在）

総事業費

5,420千円（まちづくり助成金 4,336千円、自己資金 1,084千円）

ポイント

- 「買い物弱者」と呼ばれる方々の情報収集の為に、42軒（1人～2人世帯）の「買い物支援ニーズ調査アンケート」（平成26年12月～平成27年1月）を実施し商品内容の選定などに役立てた。
- 主に市南側地区の特産品・農水産品生産者、手創り工芸品・リサイクル品出品者、の方々へ直売所への出荷を依頼し商品の充実を図った。
- 高齢化率が高く地区に店舗が無い牟田地区を建設地に選定した。また、トイレ及び駐車場が隣接する市有地に平屋プレハブ（中古26㎡）で店舗を建設したことで予算内での実施が可能となった。

事業の成果：「買い物弱者」の増加という課題の克服と地産地消と地域再生を兼ねた「故郷コンビニ」の建設は、同じ問題を抱える地域のモデルケースとなる事例となった。また、大型スーパーの進出により各地の小規模店舗が消滅し、住民の消費利益は地元ではなく中央へ集まる仕組みができ、それにより生活基盤がくずれるといふ地方にとっての不の連鎖を食い止める一助となった。

店内の様子

